【SR-8　評価シート　エビデンス総体（絶対効果指標の結果を記入する場合）】

診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン
対象	術前のHER2陽性早期乳癌
介入	Trastuzumab、Pertuzumabと化学療法
対照	Trastuzumabと化学療法

エビデンスの強さについて，RCT は「強（A）」からスタート，観察研究は「弱（C）」からスタート。
＊各ドメインは「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
＊＊エビデンスの強さは「強（A）」，「中（B）」，「弱（C）」，「非常に弱（D）」の4 段階。
＊＊＊重要性はアウトカムの重要性（1 ～ 9）。

エビデンス総

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率） 対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95％信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント	絶対効果	効果指標統合値	95％信頼区間
DFSの改善	RCT/	-1	0	-1	-1	0		103	18	17.4	101	15	14.8	HR	0.6	0.28−1.27	弱	8	差なし	RD		
pCR率の改善	RCT/	0	0	0	0	0		217	55	25.3	326	135	41.4	RR	1.68	1.29-	強(A)	7	pCR率を有意に改善	RD	0.17	0.09-0.25
心機能低下	RCT/	0	-1	0	0	0		217	1	0.5	325	3	0.9	RR	3	0.32-	中	7	一つのRCTはイベントな	RD	0.00	-0.01-0.02
G3以上の有害事象	RCT/2	0	-1	0	0	0		217	133	61.3	325	184	56.6	RR	1	0.78-1.28	中（B）	6	差なし	RD	-0.01	-0.16-0.14
下痢	RCT/	0	-1	0	0	0		217	54	24.9	325	133	40.9	RR	1.75	1.03-	中	4	有意に増加する	RD	0.18	0.09-0.28

コメント（該当するセルに記入）